

## 発生研セミナー IMEG Seminars

平成24年度(2012年4月～2013年3月)			
開催番号	年月日	演者	所属・職名等
第189回	平成24年 4月24日	矢原 正治	熊本大学薬学部薬用資源エコフロンティア センター長 薬用植物・薬用資源の確保
第190回	平成24年 6月11日	Michiru Nishita	Associate Professor Department of Physiology and Cell Biology Graduate School of Medicine, Kobe University
第191回	平成24年 7月27日	金井 正美	東京医科大学 実験動物センター 教授
第192回	平成24年 7月27日	堀内 貴之	(株)ネオ・モルガン研究所 研究開発部 研究所長 兼主席研究員 進化論に基づく育種技術で有用な生物をつくる
第193回	平成24年 7月12日	松山 晃文	(公財)先端医療振興財団 再生医療研究開発部門 再生医療開発支援部
第194回	平成24年 7月31日	篠原 良章	理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経グリア回路チーム 研究員 齧歎類の脳の左右差
第195回	平成24年10月19日	Shunsuke Tanigawa	JSPS fellow at NIH, Renal differentiation and neoplasia section (Dr.Alan O. Perantonis's lab)Cancer and developmental biology laboratory, National Cancer Institute, USA
第196回	平成24年 8月27日	宇田川 潤	滋賀医科大学 解剖学講座 生体機能形態学部門 教授 胎生期の内分泌および栄養環境と脳の発生との関わり
第197回	平成24年 8月28日	Mark A. Kay	the Director of the Program in Human Gene Therapy, and Professor in the Department of Pediatrics and Genetics at Stanford University School of Medicine
第198回	平成24年 9月18日	斎藤 典子	(発生研)細胞医学分野 助教 細胞核内空間におけるエピジェネティック制御
第199回	平成25年 1月16日	田中 翼	独立行政法人国立国際医療研究センター 分子炎症制御プロジェクト 上級研究員 小胞輸送を介した生殖質形成の制御機構
第200回	平成25年 1月11日	林 良敬	名古屋大学環境医学研究所 准教授 プロゲルカゴン由来ペプチド欠損下の薛島内分泌細胞と代謝
第201回	平成25年 2月19日	菊池 裕	広島大学大学院理学研究科生物科学専攻 教授 細胞運命決定機構の解明 一造血幹細胞の多系列分化能維持機構・再生時におけるDNAメチル化の変化と細胞脱分化との関連-
第202回	平成25年 2月22日	Daisuke Sugiyama	Center for Clinical and Translational Research Kyushu University Hospital
第203回	平成25年 3月 7日	上野 太郎	多能性幹細胞分野 ショウジョウワバエをモデルとした睡眠記憶研究
第204回	平成25年 3月 8日	渡部 徹郎	東京大学大学院 医学系研究科 分子病理学分野 准教授科学技術振興機構 さきがけ リンパ管形成におけるTGF-β ファミリーシグナルの役割
第205回	平成25年 3月12日	奥野 貴士	山形大学理学部 准教授 高速原子間力顕微鏡による26Sプロテアソームの単粒子解析
		唐田 清伸	千葉大学大学院薬学研究院 特任准教授 大腸菌DNAポリメラーゼVとOlpXPの生化学的解析
		杉本 真也	東京慈恵会医科大学医学部 助教 病原細菌のバイオフィルム形成メカニズムとその予防法の開発
第206回	平成25年 3月25日	西田 基宏	九州大学大学院薬学研究院創薬育薬学官連携分野 GTP結合蛋白質の活性酸素センシングの基本動作原理
		野井 健太郎	(発生研)分子細胞制御分野 高速原子間力顕微鏡を用いたタンパク質の構造・構造変化的観察
第207回	平成25年 4月 2日	坂野 大介	(発生研)多能性幹細胞分野 特任助教 低分子化合物スクリーニングに基づいた薛β細胞誘導研究
平成25年度(2013年4月～2014年3月)			
開催番号	年月日	演者	所属・職名等
第208回	平成25年 4月16日	重本 隆一	Professor Institute of Science and Technology, Australia 自然科学研究機構 生理学研究所 教授（兼任） 海馬錐体細胞シナプスの入力依存性左右差
第209回	平成25年 5月17日	稻田 明理	九州大学大学院医学研究院 膝管上皮細胞からβ細胞への分化とそのメカニズム
第210回	平成25年 8月 1日	Masato Hoshi	Senior Staff Scientist Renal Division, Department of Medicine Washington University School of Medicine The role of RET in urinary tract formation
第211回	平成25年 7月18日	閑 由行	関西学院大学理工学部 生命科学科 生殖後成遺伝学分野 専任教師 マウス始原生殖細胞によるエピゲノム情報の初期化エピゲノム情報の初期化
第212回	平成25年 7月 2日	菊池 浩二	熊本大学大学院生命科学研究所 細胞情報薬理学分野 achineries for maintenance of genome stability in DNA repair and chromosome segregation.
第213回	平成25年 7月 1日	山田 勝也	弘前大学大学院医学研究科 統合機能生理学講座 准教授 蛍光グルコースを用いたがん細胞イメージング
第214回	平成25年 7月26日	渡邊 すぎ子	九州大学 先端融合医療レッカスナビ研究拠点 先端がん診断・創薬グループ・特任助教 脱メチル化酵素JMJD1CによるDNA2本鎖切断修復応答 MDC1-RNF8-RAP80/BRCA1経路の新規制御機構
第215回	平成25年 7月30日	Noriaki Sasai	MRC, National Institute for Medical Research, London, United Kingdom Sonic Hedgehog and its transcriptional network control neural tube pattern formation
第216回	平成25年 7月18日	永松 剛	慶應義塾大学 医学部 坂口光洋記念講座 始原生殖細胞から多能性幹細胞への脱分化
第217回	平成25年 8月28日	福田 真嗣	慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任准教授 理化学研究所統合生命医科学研究センター 統合オミクスによる腸内エコシステムの包括的理解
第218回	平成25年 8月 2日	下條 博美	京都大学 物質-細胞統合システム拠点 助教 神経発生過程における遺伝子発現モードによる神経分化制御機構
		播磨 有希子	京都大学 ウイルス研究所 研究員 Hes/H遺伝子のイントロン削減による分節時計の加速化

開催番号	年月日	演者	所属・職名等	演題
第219回	平成25年 9月 6日	伊野部 智由	富山大学 先端ライフサイエンス拠点 特命助教	Unstructured領域の司るプロテアソームによる蛋白質分解
第220回	平成25年10月10日	千原 崇裕	東京大学大学院薬学系研究科 遺伝学 講師	神経回路の一生を支える分子基盤ショウジョウバエ遺伝学を用いたアプローチ
第221回	平成25年10月23日	高橋 淑子	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻動物学系 教授	器官発生を支える組織間の連携プレー
第222回	平成25年 9月30日	坂元 顕久	(発生研) 細胞医学分野	ヒストン脱メチル化酵素LSD1による癌代謝制御
第223回	平成25年11月28日	永瀬 浩喜	千葉県がんセンター研究所・所長	化学物質による遺伝子調節とその応用
第224回	平成25年11月 5日	Ken W.Y. Cho	Professor, Department of Developmental and Cell Biology School of Biological Sciences University of California Irvine	BMP signaling in preimplantation mouse embryos
第225回	平成25年12月16日	林 良敬	Associate Professor, Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University	グルカゴン欠損動物モデルにおける膵島内分泌細胞の増殖と神経内分泌腫瘍
第226回	平成25年12月11日	Meiji Kit-Wan Ma	理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター免疫器官形成研究グループ 特別研究員	H2B ubiquitination is responsible for regulating DNA replication timing
第227回	平成26年 2月18日	安原 徳子	大阪大学大学院生命機能研究科 特任研究員	核輸送因子による幹細胞の未分化維持機構
第228回	平成26年 2月 4日	太口 敦博	(発生研)腎臓発生分野	腎臓の初期発生の新規モデルと多能性幹細胞からの三次元腎臓組織構築
第229回	平成26年 2月14日	河村 悠美子	東京大学 代謝生理化学教室 特別研究員	初期胚発生および病態生理におけるSirt3の役割
第230回	平成26年 2月12日	山岸 覚	浜松医科大学・解剖学講座・神経機能学分野 助教	神経軸索ガイダンス分子FLRT2による神経細胞移動制御と血管形成における役割
第231回	平成26年 2月20・21日	Takayuki Uchihashi (Kanazawa University) 他 演者18名		ATP/GTP駆動分子マシンナリーの高速AFMイメージングと分子機構解明の進展
第232回	平成26年 3月 4日	平手 良和	(発生研)分化制御分野 助教	着床前胚の Hippo 経路による細胞分化制御機構
		佐藤 有紀	大学院先導機構 発生・再生医学分野 特任助教	無細胞空間の動的アーキテクチャに魅了されて
		富田 淳	(発生研)多能性幹細胞分野 研究員	ショウジョウバエを用いた睡眠制御機構の研究
第233回	平成26年 3月12日	中川 修	奈良県立医科大学 先端医学研究機構 循環器システム医科学研究室 教授	新しいBMP-ALK1シグナル下流遺伝子の心血管発生における意義
<hr/>				
平成26年度(2014年4月～2015年3月)				
開催番号	年月日	演者	所属・職名等	演題
第234回	平成26年 6月16日	吉野 剛史	京都大学大学院理学研究科 生物科学専攻動物学教室	腎-生殖腺体腔上皮の解析によって明らかとなった生殖腺の形成機構と上皮間相互作用
第235回	平成26年 7月 3日	白木 伸明	(発生研) 多能性幹細胞分野 助教	ヒト多能性幹細胞におけるメチオニン代謝の役割
第236回	平成26年 7月 3日	持田 悟	大学院先導機構 発生・再生医学分野 特任助教	リン酸化の可逆性が生み出す細胞分裂周期の制御
第237回	平成26年 7月17日	高橋 俊雄	サンタリー生命科学財団 生物有機科学研究所	腸幹細胞システムを制御する非神経性アセチルコリンの役割
第238回	平成26年 9月 3日	木村 宏	東京工業大学 生命理工学研究科 教授	特異的モノクローナル抗体を用いたヒストン修飾動態解析:発生・分化・細胞増殖過程におけるクロマチン動態と創薬への展望
第239回	平成26年11月17日	大澤 純	東京大学 先端科学技術研究センターシステム生物学 特任助教	腫瘍微小環境におけるがん代謝の解明
第240回	平成26年11月 6日	大槻 純男	熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)微生物薬学分野 教授	抗体を超える新しいタンパク質定量技術:定量的標的のプロテオミクス
第241回	平成26年11月20日	山路剛史	Research Associate, The Rockefeller University, NY	Major role of DND1 is post-transcriptional gene silencing by recruiting the CCR4-NOT deadenylase complex to the target mRNAs in the germline
第242回	平成26年12月 1日	工樂 樹洋	理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター 分子配列比較解析ユニット	生命情報学を実験生物学にどう活用するか～分子進化から次世代シーケンスまで～
第243回	平成26年11月19日	Yasuhiro Takashima	Wellcome Trust-Medical Research Council Stem Cell Institute University of Cambridge Wellcome Trust-Medical Research Council Stem Cell Institute University of Cambridge	Capturing in vitro counterpart of human naïve epiblasts
第244回	平成27年1月29日	小迫 英尊	徳島大学 藤井節郎記念医科学センター 細胞情報学分野 教授	リン酸化プロテオミクスによる核-細胞質間分子輸送およびPINK1/Parkin 経路の解析
第245回	平成27年1月26日	関 由行	関西学院大学理工学部 生命科学科 生殖後成遺伝学分野 准教授	生殖系列の成立に必要な因子PRDM14の分子進化及び複合体解析
第246回	平成27年2月12日	Tatsuya Takemoto	Assistant Professor Fujii Memorial Institute of Medical Sciences The University of Tokushima	Regulation of neuro-mesodermal precursors, axial stem cells.
第247回	平成27年2月19日	佐野 浩子	久留米大学 分子生命科学研究所 講師	ショウジョウバエ新規栄養応答性ホルモンCCHa2によるinsulin/IGFの制御
第248回	平成27年2月20日	達家 雅明	県立広島大学 生命環境学部生命科学科 ゲノム制御システム生物学研究室 教授	tRNA メチル化酵素SAKI(NSUN2)が制御する抗がん剤耐性制御機構
第249回	平成27年2月9日	奥村 正樹	東北大学多元物質科学研究所 博士	高速AFMが明らかにするProtein Disulfide Isomeraseの新しい作用機序 Real-time monitoring of PDI-catalyzed oxidative protein folding by high-speed atomic force microscopy
第250回	平成27年2月25日	佐々木 洋	(発生研)分化制御分野 教授	胚形成を細胞から理解する—熊大での4年間をふり返って
		糸 昭苑	東京工業大学 大学院生命理工学研究科 教授	消化器官の発生再生研究—熊大での13年間の道のり
		白木 伸明	(発生研)多能性幹細胞分野 准教授	足場と培養液に着目した内胚葉分化誘導法の開発
		坂野 大介	(発生研)多能性幹細胞分野 助教	膀β細胞誘導と増殖を目指した化合物スクリーニング研究

開催番号	年月日	演者	所属・職名等	演題
特別セミナー	平成27年3月3日	市川 家國	信州大学 特任教授	生命科学における研究倫理及びその教育プログラム
第251回	平成27年3月19日	鈴木 堅太郎	和歌山県立医科大学先端医学研究所遺伝子制御学研究部 講師	外生殖器形成過程における性差形成メカニズムの解明 ～遺伝子発現の性差は如何に制御されているのか？～
第252回	平成27年3月26日	Alan J. Davidson	Associate Professor Department of Molecular Medicine & Pathology, University of Auckland, New Zealand	Development of the zebrafish kidney
平成27年度(2015年4月～2016年3月)				
開催番号	年月日	演者	所属・職名等	演題
第253回	平成27年5月21日	村上 和弘	北海道大学 大学院先端生命科学研究院 助教	転写因子Nanogは始原生殖細胞様細胞を誘導する ～多能性と単能性をつなぐ転写因子の使い分け～
第254回	平成27年6月30日	落合 博	広島大学 クロマチン動態数理研究拠点 特任講師	ライブイメージングを利用した 多能性幹細胞の性質的多様性の理解
第255回	平成27年6月15日	岡本 直樹	理化学研究所 多細胞システム形成研究センター(CDB)	インスリン様ペプチドの機能を調節するメカニズム
第256回	平成27年7月 6日	岡野 正樹	熊本大学発生医学研究所多能性幹細胞分野 特別研究員	DNAメチル化修飾によるエピジェネティクス制御と機能
第257回	平成27年 9月 7日	小布施 力史	北海道大学 大学院先端生命科学研究院 分子細胞生物学研究室 教授	ヒトHP1の解析から見えてきた ヘテロクロマチンの構造と機能
第258回	平成27年9月3日	Shuji Takada	Head Department of Systems BioMedicine, National Research Institute for Child Health and Development, Japan	Towards understanding the molecular mechanisms of sexual differentiation
第259回	平成27年10月8日	養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻 教授	グループII型シャペロンのタンパク質フォールディング機構
第260回	平成27年10月9日	発生研ミニシンポジウム：後藤 俊男(理化学研究所)他 演者3名		
第261回	平成27年12月7日	Takashi Miura	Professor Department of Anatomy and Cell Biology Kyushu University Graduate School of Medical Sciences	Perfusable self-organized capillary network in a microdevice: modeling and applications
第262回	平成27年11月19日	中山 潤一	名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科 教授	高次クロマチン構造の形成と維持の分子機構
第263回	平成27年12月9日	Rintaro Hashizume	Assistant Professor Department of Neurological Surgery, Biochemistry, and Molecular Genetics Feinberg School of Medicine, Northwestern University	Epigenetic Targeting Therapy for Diffuse Intrinsic Pontine Glioma
第264回	平成28年2月9日	丹羽 隆介	筑波大学 生命環境系 准教授(JST さきがけ研究者)	Noppera-boのケミカルバイオロジー ～大規模化合物ライブラリーを活用した昆虫ステロイドホルモン生合成研究の試み～
第265回	平成28年2月16日	Masanori Nakayama	Group Leader Max-Planck-Institute for Heart and Lung Research Laboratory for Cell Polarity and Organogenesis	Role of the polarity proteins in endothelial cells
第266回	平成28年2月26日	仲木 竜	東京大学先端科学技術研究センター 日本学術振興会特別研究員PD	ゼロから始めるNGSエピゲノムデータ解析
第267回	平成28年2月22日	谷川 俊祐	熊本大学大学院先導機構 リーディングプログラム(HIGO) 特任助教 熊本大学発生医学研究所 脊髄発生分野	3次元組織形成能を持つ腎臓ネフロン前駆細胞の增幅培養法の確立
第268回	平成28年2月24日	村嶋 垣紀	和歌山県立医科大学 先端医学研究所 遺伝子制御学研究部	ウォルフ管形態形成におけるアンドロゲンと細胞増殖因子のはたらき
		鈴木 堅太郎	和歌山県立医科大学先端医学研究所 遺伝子制御学研究部	器官形成過程におけるアンドロゲン応答性獲得機構の解明
第269回	平成28年3月3日	佐野 浩子	久留米大学 分子生命科学研究所 講師	栄養応答性ホルモンCCH <sub>2</sub> Iによる 栄養状態と体内システムの協調的制御
第270回	平成28年3月4日	田中 聰	熊本保健科学大学 保健科学部 准教授	次世代を生み出すメカニズム
		日野 浩嗣	大学院先導機構 持田研究室	ホスファーゼPP2Aの調節に関する研究 ～熊本での4年間を振り返って～
		有田(森岡) 健一	(発生研)分子細胞制御分野	分子シャペロンDnaKを標的にした 新しいバイオフィルム阻害法の開発
第271回	平成28年3月2日	池ノ内 順一	九州大学 理学研究院 准教授 (JST さきがけ研究者)	上皮細胞の細胞膜構造形成における スフィンゴミエリンの役割について
第272回	平成28年3月3日	Austin Smith	Professor Wellcome Trust-Medical Research Council Stem Cell Institute, University of Cambridge, United Kingdom	Naive and Formative Pluripotency

平成28年度(2016年4月～2017年3月)		演者	所属・職名等	演題
開催番号	年月日			
第273回	平成28年4月26日 震災で中止	濱田 博司	理化学研究所 多細胞システム形成研究センター (RIKEN CDB) センター長	CDBと私の研究(体の左右非対称性における繊毛の役割)
第274回	平成28年6月21日	平田 直	東京大学地震研究所教授、地震研究所地震予知研究センター長、政府地震調査研究推進本部地震調査委員会委員長	最新科学からみた熊本地震 Science of Kumamoto Earthquakes
第275回	平成28年7月14日	大川 恒行	九州大学生体防御医学研究所・トランスクリプトミクス分野 教授	クロマチン構造からトランスクリプトミクスへの挑戦
第276回	平成28年7月11日	波平 昌一	国立研究開発法人産業技術総合研究所バイオメティカル研究部門脳機能調節因子研究グループ長	哺乳類の神経発生を調節するエピジェネティクス制御機構の分子基盤
第277回	平成28年8月23日	丹羽 隆介	筑波大学 生命環境系 准教授	生殖幹細胞の増殖を制御するショウジョウバエの神経-内分泌基盤
第278回	平成28年9月26日	石黒 啓一郎	(発生研)染色体制御分野 准教授	減数分裂における染色体制御
		丹羽 仁史	(発生研)多能性幹細胞分野 教授	「多能性とは?」という問い合わせられるのか?
第279回	平成28年9月13日	三嶋 雄一郎	東京大学 分子細胞生物学研究所 助教	遺伝暗号によるmRNAの安定性制御機構
第280回	平成28年9月6日	喜多村 悅至	Centre for Gene Regulation & Expression, School of Life Sciences, University of Dundee Senior Research Associate	スピンドル微小管による動原体捕捉の分子機構
第281回	平成28年9月8日	養王田 正文	東京農工大学大学院工学府 生命工学専攻 教授	Structure, dynamics and functional mechanism of small heat shock proteins
第282回	平成28年11月7日	RIKEN CDB - IMEG Joint Seminar: Carina Hanashima(Ph.D.), Team Leader, CDB 他 演者6名		
第283回	平成28年10月31日	曾我 美南	(発生研)幹細胞誘導分野 特定事業研究員	疾患由来iPS細胞を用いた疾患モデル確立と創薬研究
第284回	平成28年10月27日	Fabrice Laviat	Principal investigator Apoptosis, Cancer and Development Laboratory, Université de Lyon	Deciphering naive ground state pluripotency instruction in mouse embryonic stem cells
第285回	平成28年11月10日	十川 久美子	東京工業大学生命理工学院 准教授	DNA 1分子操作から生細胞蛍光 1分子イメージングへ
第286回	平成28年11月25日	小迫 英尊	徳島大学 先端酵素学研究所 藤井節郎記念医科学センター 細胞情報学分野 教授	リン酸化プロテオミクスによる疾患原因キナーゼの機能解析
第287回	平成28年12月14日	中山 潤一	基礎生物学研究所 クロマチン制御研究部門	ヘテロクロマチンの形成と維持の分子機構
第288回	平成28年12月26日	古賀 沙緒里	九州大学大学院 医学研究院・助教 九州大学大学院 医学研究院附属総合コホートセンター	核内受容体AhRの内因性リガンド FICZ は創傷治癒を促進する
第289回	平成29年2月14日	千原 崇裕	広島大学大学院 理学研究科 教授	ショウジョウバエ脳内単一細胞解析から見えてきた脳神経地図のつくり方
第290回	平成29年1月17日	奥村 正樹	東北大学多元物質科学研究所	高速AFMが明らかにしたPDI酵素による基質の酸化的フォールディング触媒機構の解明
第291回	平成29年2月24日	Tokyo Medical and Dental University- IMEG Joint Seminar: Ichiro Sekiya, MD, PhD. (Center for Stem Cell and Regenerative Medicine, TMDU) 他 演者6名		
第292回	平成29年1月13日	Fuminori Tanihara (谷原 史倫)	Specially Appointed Assistant Professor Tokushima University Faculty of Bioscience and Bioindustry Laboratory of Animal Reproduction (徳島大学)	"Generation of genetically modified pig by GEEP method: a simple way to edit genome of embryos via electroporation"
第293回	平成29年2月28日	Derrick E. Rancourt	Professor, Oncology, Biochemistry and Molecular Biology, Medical Genetics, University of Calgary	Derivation and Expansion of Naïve Pluripotent Stem Cells in Suspension Bioreactors
第294回	平成29年2月23日	大野 瞳人	京都大学 ウィルス・再生医科学研究所 RNAシステム分野 教授	RNAの核外輸送 vs 核内保持-RNAの核・細胞質間の分配制御
第295回	平成29年3月16日	佐野 浩子	久留米大学 分子生命科学研究所 遺伝情報研究部門 講師	内分泌ホルモンによる栄養状態と体内システムの協調的制御
第296回	平成29年2月7日	大澤 毅	東京大学 先端科学技術研究センター システム生物医学 特任助教	腫瘍微小環境に適応するがん代謝機構の解明
第297回	平成29年1月25日	奥野 貴士	山形大学理学部 准教授	高速AFMによるプロテアソームおよび生体膜で機能するAAAタンパク質の作用機構解明
第298回	平成29年2月13日	胡桃坂 仁志	早稲田大学理工学術院 教授	エピジェネティクスを担うクロマチンの高次構造
第299回	平成29年2月6日	古賀 友紹	熊本大学大学院先導機構 リーディングプログラムHIGO 特任助教	ロイコトリエンB4受容体BLT1の発現で規定される樹状細胞の同定
第300回	平成29年3月6日	斉藤 典子	発生医学研究所細胞医学分野 准教授	生命現象をつかさどる核・クロマチン・機能性RNA ~発生研に感謝をこめて~
		野井 健太郎	発生医学研究所分子細胞制御分野 特定事業研究員	高速 AFMを用いたタンパク質の構造変化観察
第301回	平成29年2月16日	石田 誠子	広島大学病院 血液・腫瘍内科・医科診療医	銅摂取量はがんの増殖速度を決定する
第302回	平成29年2月21日	日野 信次朗	熊本大学発生医学研究所 細胞医学分野 助教	FAD依存性ヒストン脱メチル化酵素によるエネルギー代謝制御機構
第303回	平成29年3月2日	林 良樹	筑波大学 生命領域学際研究センター 助教	メタボロミクスからみえてきた始原生殖細胞の代謝的性質とその役割

開催番号	年月日	演者	所属・職名等	演題
第300回 平成29年3月6日		斎藤 典子	発生医学研究所細胞医学分野 准教授	生命現象をつかさどる核・クロマチン・機能性RNA～発生研に感謝をこめて～
		野井 健太郎	発生医学研究所分子細胞制御分野 特定事業研究員	高速AFMを用いたタンパク質の構造変化観察
第301回 平成29年2月16日	石田 誠子	広島大学病院 血液・腫瘍内科・医科診療医	銅摂取量はがんの増殖速度を決定する	
第302回 平成29年2月21日	日野 信次朗	熊本大学発生医学研究所 細胞医学分野 助教	FAD依存性ヒストン脱メチル化酵素によるエネルギー代謝制御機構	
第303回 平成29年3月2日	林 良樹	筑波大学 生命領域学際研究センター 助教	メタボロミクスからみえてきた始原生殖細胞の代謝的性質とその役割	
第304回 平成29年3月23日	鈴木 郁夫	Interdisciplinary Research Institute (IRIBHM), University of Brussels (ULB) 研究員	ヒト進化系統特異的に重複した遺伝子の大脳皮質形成における役割	
第305回 平成29年3月29日	Rudolf Jaenisch	Professor of Biology Whitehead Institute and Dept. of Biology, MIT	Stem cells, epigenetic regulation and disease modeling	
第306回 平成29年3月31日	西村 隆史	理化学研究所 多細胞システム形成研究センター 成長シグナル研究チーム チームリーダー	ショウジョウバエ個体発生における貯蔵糖の生理的役割	
第307回 平成29年3月27日	Daisuke Morito(森戸 大介)	Institute for Protein Dynamics, Kyoto Sangyo University (京都産業大学タンパク質動態研究所)	Mysterin, a unique enzyme associated with moyamoya disease	
第308回 平成29年3月24日	Satomi S. Tanaka	Associate Professor Department of Rehabilitation, Faculty of Health Science, Kumamoto Health Science University	Molecular networks underlying gonadal formation, germ cell formation and sex determination in mice	
平成29年度(2017年4月～2018年3月)				
開催番号	年月日	演者	所属・職名等	演題
第309回 平成29年5月8日	Hideya Sakaguchi, MD, PhD.(坂口 秀哉)	Laboratory of Neuronal Regeneration, Department of Clinical Application, Center for iPS Cell Research and Application (CiRA), Kyoto University(京都大学iPS細胞研究所)	Generation of 3D-hippocampal organoid from human embryonic stem cell(ヒトES細胞からの三次元海馬オルガノイド作製)	
第310回 平成29年7月5日	浅野 桂	Division of Biology, Kansas State University 教授	非AUG開始コドンの翻訳制御	
第311回 平成29年7月4日	発生医学研究所 公開シンポジウム Mini-symposium : Brian Cox (University of Toronto)他 演者6名		多能性幹細胞と栄養外胚葉幹細胞の運命を分ける転写因子とエピジェネティクスの階層性	
第312回 平成29年7月12日	Kotaro Fujii, PhD. (藤井 耕太郎)	Barna lab., Dept. of Developmental Biology & Genetics, Stanford University	Pervasive translational regulation of the cell signaling circuitry underlies mammalian development	
第313回 平成29年8月31日	岡田 由紀	東京大学 分子細胞生物学研究所 病態発生制御研究分野 准教授	精子クロマチン構造解析: その問題点と再評価、そして次世代への影響について	
第314回 平成29年9月28日	遠藤 墾	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 感染動物実験施設 特任助教	周期的な精子生産を制御するレチノイン酸:未分化細胞から配偶子へ	
第315回 平成29年8月21日	Atsuhiko Taguchi, M.D., Ph.D.(太口 敦博)	Assistant Professor Department of Kidney Development IMEG, Kumamoto University	多能性幹細胞から腎臓は「今」どこまで創れるか?～腎臓発生に学ぶ誘導戦略と誘導実験が示す腎臓の発生機構～	
第316回 平成29年9月8日	山村 研一	熊本大学 生命資源研究・支援センター 山村プロジェクト研究室 シニア教授(熊本大学名誉教授)	最終懇話会	
第317回 平成29年10月10日	神吉 康晴	東京大学アイソトープ総合センター 助教	血管新生をコントロールするヒストン修飾複合体'エピゲノム制御によるアクセントブレーク'	
第318回 平成29年10月3日	高田 幸	九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医科大学講座	マウス精子形成過程におけるエピジェネティック制御機構の解明	
第319回 平成29年10月19日	斎藤 都暁	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所 教授	小さなRNAによるゲノム防衛システム	
第320回 平成29年12月11日	加藤 讓	国立遺伝学研究所系統生物研究センター 助教	マウス生殖細胞の発生・分化におけるRNA制御機構	
第321回 平成29年12月19日	Kenjiro Adachi	Department of Cell and Developmental Biology, Max Planck Institute for Molecular Biomedicine	Unlocking silenced enhancers for reprogramming to naïve pluripotency	
第322回 平成29年12月18日	秋山 智彦	慶應義塾大学医学部 坂口記念システム医学講座 特任助教	転写因子導入によるヒト多能性幹細胞の分化誘導の自在化を目指して	
第323回 平成30年1月26日	中山 潤一	基礎生物学研究所 クロマチン制御研究部門 教授	HP1によるヘテロクロマチン構造形成の分子機構	
第324回 平成30年2月13日	舛田 昭一	元ライカマイクロシステムズ株式会社 (顕微鏡シニア)	顕微鏡の基礎知	
第325回 平成30年2月15日	藤森 俊彦	基礎生物学研究所 初期発生研究部門 教授	卵管における細胞極性	
第326回 平成30年3月28日	上山 拓己1 & 丹羽 隆介2	1 筑波大学 大学院生命環境科学研究科 博士前期課程1年生 2 筑波大学 生命環境系 准教授	One gene, one transcription factor?: ショウジョウバエのシンクフィンガー型転写因子群による遺伝子発現調節と発生制御	
第327回 平成30年1月31日	Daisuke Morito(森戸 大介)	Institute for Protein Dynamics, Kyoto Sangyo University (京都産業大学タンパク質動態研究所) 博士	Physiological and pathological functions of moyamoya disease-associated gene mysterin	

開催番号	年月日	演者	所属・職名等	演題
第328回	平成30年2月26日	佐野 浩子	久留米大学分子生命科学研究所 講師	個体が糖を感知するメカニズム:新たに見出されたポリオール経路の役割について
第329回	平成30年2月9日	三輪 裕幸	東京薬科大学薬学部 助教	遺伝子改変マウスを用いた間葉系幹細胞の運命及び発現遺伝子の機能の解析
第330回	平成30年2月20日	大串 雅俊	京都大学 ウィルス・再生医科学研究所 発生システム制御分野 准教授	ヒトES細胞からの栄養外胚葉様細胞分化の解析
第331回	平成30年3月1日	立花 誠	徳島大学先端酵素学研究所 教授	H3K9のメチル化修飾によるほ乳類の発生・分化の制御
第332回	平成30年3月23日	Keisuke Kaji	Group Leader, Professor of Biology of Reprogramming and MRC Senior Non-Clinical Fellow MRC Centre for Regenerative Medicine, University of Edinburgh	Mechanisms of iPS cell generation and beyond
第333回	平成30年3月19日	Takashi Okuno (奥野 貴士)	Faculty of Science, Yamagata University (山形大学理学部) 准教授	A single-molecule analysis of recognition of ubiquitinated proteins by the 26S proteasome
		Masaki Okumura (奥村 正樹)	Frontier Research Institute for Interdisciplinary Sciences, Tohoku University (東北大学学際科学フロンティア研究所) 助教	Dynamic assembly and disassembly of protein disulfide isomerase in catalysis of oxidative protein folding

<発生研情報交換会>

平成28年度(2016年9月～2017年3月)		演者	所属・職名等(注)当時のまま	演題
1	平成28年 9月12日	丹羽 仁史	発生医学研究所 多能性幹細胞分野 教授	Trial of single cell RNA seq: modified drop-sea without drop
2	平成28年10月 6日	中村 輝	発生医学研究所 生殖発生分野 教授	Rapid and efficient generation of knockout/knock-in flies using genome editing technology
3	平成28年11月10日	西中村 隆一	発生医学研究所 腎臓発生分野 教授	Manipulation of iPS and ES cells for developmental medicine
4	平成28年12月 8日	小川 峰太郎	発生医学研究所 組織幹細胞分野 教授	On the nature of endothelial cells derived from ES cells
5	平成29年 1月12日	石黒 啓一郎	発生医学研究所 染色体制御分野 准教授	Information exchange about generation of antibody
6	平成29年 2月 9日	日野 信次朗	発生医学研究所 細胞医学分野 助教	Approaches toward understanding transcriptional and epigenetic control of cellular metabolism. (転写・エピゲノム制御による細胞内代謝調節とその研究手法)
7	平成29年 3月30日	曾我 美南	発生医学研究所 幹細胞誘導分野 助教	iPSC technology as a tool for disease modeling
平成29年度(2017年4月～2018年3月)		演者	所属・職名等(注)当時のまま	演題
8	平成29年 4月13日	嶋村 健児	発生医学研究所 脳発生分野 教授	Experimental expertise of our laboratory
9	平成29年 5月19日	立石 智	発生医学研究所 損傷修復分野 講師	Mechanism of maintenance of genomic DNA stability in mouse ES cells 「マウスES細胞のゲノムDNAを安定に維持する機構 - 解析手法等の紹介」
10	平成29年 6月 1日	岡野 正樹	発生医学研究所 多能性幹細胞分野 准教授	
11	平成29年 7月 7日	持田 悟	大学院先導機構 准教授	Understanding / Making Cellular Switches By Quantitative Approaches
12	平成29年 9月 1日	江崎 雅俊	発生医学研究所 分子細胞制御分野 助教	Live imaging of macromolecules by high speed atomic force microscopy
13	平成29年10月 5日	田中 翼	発生医学研究所 生殖発生分野 助教	Endocytic regulation for the cytoskeleton and germ plasm
14	平成29年11月 9日	滝澤 仁	国際先端医学研究機構 特別招聘教授	Bone marrow humanized mice
15	平成29年12月14日	南 敬	生命資源研究支援センター 表現型解析分野 教授	The Endothelium in Vascular Biology ~Vascular-bed heterogeneity & epigenetic regulation for EC activation~
16	平成30年 2月15日	田中 宏	発生医学研究所 細胞医学分野 研究員	Discussion about CRISPR/Cas9-mediated epigenetic modulation
17	平成30年 3月15日	沼川 忠広	発生医学研究所 幹細胞誘導分野 研究員	Dysfunction in neurons established from GM1 gangliosidosis patient-derived iPSC cells is improved by small compounds

<学内研究交流会>

開催番号	年月日	演者	所属・職名等(注)当時のまま	演題
1	平成28年10月 7日	発生医学研究所 細胞医学分野 田中 宏研究員 他 演者20名		
2	平成29年10月 5日	発生医学研究所 染色体制御分野 石黒 啓一郎 教授 他 演者 30名		

<セミナーリトリート>

開催番号	年月日	参加者
	平成29年 8月 3日/4日	参加者90名

<KEY Forum>

開催番号	年月日	開催概要
2	平成26年9月4日/ 5日	国外より8名、国内より9名招聘。参加者172名(内、外国人25名)
3	平成30年1月11日/12日	国外より5名、国内より8名招聘。参加者145名(内、外国人20名)